

令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題
【D日程入試】法律専門科目試験

刑法 出題の意図

問題1は、刑法各論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。事例を設定させるのは、適切な事例設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1)は、財産犯の基本概念の1つである「財物」に関する基本的な理解を問うものである。有体性説と管理可能性説の対立状況を概説していることが必須であるが、その対立の242条の性質理解への反映が記述されていることを求めたい。(2)は、偽証罪の基本たる「虚偽」性に関する基本的な理解を問うものである。いわゆる主観説と客観説の対立構造に言及したうえで、設定した事例が適切に解決されていることが必要である。

問題2は、刑法総論の基本である緊急避難のうち、補充性が満たされなかった場合に過剰避難が成立するかどうかを問う事例問題である。判例は分かれているため結論は問うところではないが、緊急避難の法的性質等に関しどのような規範を立て、それと矛盾なく解答が導かれているかを問うている。